

山口県日本海産のヤギ類

園山貴之

(下関市立しものせき水族館)

山口県の日本海側は、南は対馬暖流の影響で南方系生物が来遊し、北は水深 300m 以深にある日本海固有水の影響で北方系生物が漁獲される、生物地理学的に非常に興味深い場所である。しかし、本海域での生物地理学的調査は、魚類を除いて実施されていない。本研究では、これまでほぼ情報が皆無であった山口県日本海産のヤギ類について紹介する。

材料は、2016 年から 2017 年に山口県下関市の日本海側で建網により混獲されたものを用いた。同定は岩瀬 (1992, 2014) に従い、種までの同定が困難なものは属までの同定を行った。

結果、山口県日本海側から 3 亜目 6 科 8 属のヤギ類が得られた。2017 年に得られたヤギ類は 33 群体あり、その内フトヤギ属が 18 群体で最も多く、次いでアザミヤギ属が 6 群体であった。

これまで下関市日本海側で得られたフトヤギ属は、少なくとも 3 種以上あると思われ、これまで報告されている日本産フトヤギ属 14 種とは、群体の形状や、骨片の形状などで判別することができない群体も含まれることから、少なくとも日本初確認種があると考えている。今後も山口県日本海産ヤギ類の調査と、フトヤギ属の標本調査を行う予定である。

・山口県下関市日本海側で得られたヤギ類

石軸亜目	イソバナ科	イソハナビ属	イソハナビ属の一種 <i>Acabaria</i> sp.
	トクサモドキ科	トクサモドキ属	ナガトクサモドキ <i>Parisis australis</i>
角軸亜目	トゲヤギ科	トゲヤギ属	トゲヤギ属の一種 <i>Acanthogorgia</i> sp.
		ウミウチワ属?	ウミウチワ属?の一種 <i>Anthogorgia</i> sp.?
	ホソヤギ科	アザミヤギ属	アザミヤギ <i>Echinomuricea peterseni</i> シロアザミヤギ <i>Echinomuricea spinifera</i>
石灰軸亜目	ムチヤギ科	フトヤギ属	フトヤギ属の一種 <i>Euplexaura</i> sp.
		ヒオウギヤギ属	ヒオウギヤギ属の一種 <i>Verrucella</i> sp.
	オオキンヤギ科	ウミヒバ属	ヤナギウミヒバ <i>Callogorgia elegans</i>